

英会話なら 6 単語でできるんです

特別レポート

英会話なら 6 単語でできるんです

英語を楽しもう！六単塾
塾長 祐樹せつら



塾長プロフィール

メールで学ぶ英語塾「六単塾」の塾長をつとめる。東大卒。高校 2 年からアメリカ・カリフォルニア州に移住。日本で必死に学んだ英語が全く通用しない現実を知る。暗黒の青春時代を過ごす中で独自の英会話法に開眼した。短時間で高いパフォーマンスを生み出す独特の英語戦略は業界でも評価が高い。塾生は企業トップから医者・英語教師まで多岐にわたる。英会話を半年でマスターする塾生や 3 ヶ月で TOEIC スコアを 300 点伸ばした塾生など異例の実績を数多く残す。東京都在住。

はじめに

六単塾の祐樹です。こんにちは。

これより「英会話なら【6 単語】でできる」というお話を実際の体験談を振り返りながらじっくりお話していきたいと思います。この話は英会話にご興味をもたれているあなたには特に今後大きな転機になる可能性のある話で

す。だからこそじっくり読んでくださいね。

僕は今回の話で触れるように英会話の取り組み方を劇的に改善してきました。そうすることで英会話の問題をいくつも解決してきました。これ本当ですよ。僕と教え子がその証拠です。実際僕はこれまで計 5 万人以上の生徒にアドバイスをしており数々の成功例をあげています。

僕自身も昔は英語がぜんぜん話せなかったわけなのですがそんな昔が信じられないくらい今はネイティブと英語でガツガツ話をしています。今回のテクニックのおかげです。(最近ではフランス語・イタリア語・ドイツ語の 3 か国語同時習得もはじめました。)

ご存じのとおり外国語の会話力を得るのには 10 年以上かかるのが常識ですし日本で英会話のできる人は 1%以下とも言われています。そんな中常識をふりはらい僕は結果を出しています。それは今回お話しするテクニックを使ったからです。

僕は才能的には平凡な人間です。実際昔はほんとうに英

会話ができなくて英語が聞き取れなくて絶望的に悩んでいましたし…。本当に僕の才能は平凡だと思います。でもそんな凡才の人間がどうやって 3 ヶ国語をも話せるようになったのか？それは僕がすごいのではなくテクニックがすごいのです。

本レポートにはこの成功テクニックの第一歩を記してあります。さあレポートをじっくりお読みください。あなたの常識をあなた自身の手で取り去っていただけることを祈っております。

僕の失敗体験

まずは僕の失敗談を告白しましょう。凡才ぶりを知って「ああこれなら私でもできそう」と安心してください(笑)。

高校時代。僕は諸事情によりアメリカの現地校にいました。約 3 年間です。



通っていた現地校

海外それも現地校という英会話に恵まれた環境です。ふつうは誰でも英語が話せるようになると思いますよね。思われませんか？

でも僕は高校卒業近くになってもまったくと言っていいほど話せませんでした。周囲の期待をうらぎる形ですが…。

日本で学んだ英語はそこそこできましたが英会話は最大の苦手でしたから。

しかも僕自身がシャイな性格だったためアメリカ人と話

をすること自体が苦手でした。アメリカの高校にいるのにクラスメートとまともに目をあわすことさえできなかったのです。

まわりはみんなアメリカ人。果たしてこれは幸せなことでしょうか？ いや英語ができない人間にとってはアメリカ人がまわりにいることは苦痛でしかないのです。言いたくないほどたくさん挫折を味わいました。

たとえば昼食の時間は一人になりたくてしょうがありませんでした。気疲れするのでうんざりだったのです。

だから昼食時には校庭のすみにある芝生にいて一人でサンドイッチをくわえながら空を悲しく眺めていたものです。

そのうえ学校の先生には「あんなところに一人でいてたばこでも吸ってるのか？」と詰問されたぐらいで…。とにかくみじめでした。

それでもこのままではいかんと思い努力はしたつもりで

す。日本で学んだ教科書を引っ張り出し文法を勉強しなおしたり単語を 1 万個覚えたり。勇気を振り絞ってアメリカ人になにか話そうと努力を重ねました。自分では精一杯挑戦したつもりです。

でも結果は日常会話といえるほどの立派な会話は何もできませんでした。話せるのは 2 3 語程度のお粗末な会話のみ。勇気をふりしぼって話しかけても聞いてさえもらえませんでした。

その当時 17 歳。若くて一番頭がやわらかいと思われる時期に精一杯やって何も得られなかったわけです。本当にダメだと思いましたよ。今できないのなら将来でも二度とできるわけがないと思いました。

しかしこんな僕でもあるキッカケから一気に人生が変わったのです。信じられない話ですが次から次へと英語を話すことができ映画やニュースも瞬時に理解できるようになったのです。

人生が変わったキッカケ

キッカケはアメリカの高校で ESL クラスという授業を受けたときに訪れました。

ESL とは英語を勉強する外国人のための特別クラスです。ESL クラスには英語が母国語でない外国人（メキシコ人やドイツ人など）がいました。つまり ESL にいる生徒はみんな英語が苦手なのです。ESL クラスなら僕も友達を作れそうなものでした。



ESL クラス

ところがどうでしょう。その ESL クラスですらも僕は相変わらず孤立していたのです。なぜ？なぜなら「ほかの外国人は英語でペラペラ会話できていたから」なのです。つまり僕以外の外国人は「英語の読み書き」は苦手でしたが英会話はとっくの昔にできていたのです。これは衝撃的でした。

ここで一度整理しておきましょう。

あなたと同様僕も日本で英語の授業は受けました。文法を覚えて日本語に翻訳する方法。これで英語を読んだり書いたりできたのです。だから自然に英会話も「文法を覚えて日本語を翻訳する」方法をとりました。

ところが現実は違っていたわけです。なぜなら目の前の外国人たちは文法を覚えて翻訳することを学ぶ前に英会話を話せていたからです！

つまり「日本の学校で教えてもらったことは英会話には不要だった」ということなんですね。そう。英会話には文法など必要なかったのです。これは僕の意見ではあり

ません。英語を話せる外国人が証明してくれたことなのです。

そしてこのキッカケで僕はようやく目覚めました。

「英会話に関する考え方を一度リセットしなければいけない」「日本で学んだことは全て忘れなければならない」のだと。それでようやくスタート地点に立てたとわかったのです。

では実際に英会話をするにはどうすればよいか？その答えは偶然に僕の下におりてきました。気付けばとっても簡単なことだったのです。

奇跡が起こった瞬間

アメリカにわたって 3 ヶ月したある日のことです。

自宅のシャワーが突然壊れたのです。お湯が出なくなりました。そこで急きょシャワー修理士を呼ぶ事になった

わけです。しかしシャワー修理士は当然ながらアメリカ人。僕は英語を話さなければならない・・・。

でも僕は今のままでは英会話はできないと分かっていました。ですので新しい試みをすることにしたのです。

新しい試みとは？それは「会話リスト」を作ったのです。会話リストとは次の表のように「話したい日本語」と「英語の読みカナ」をリストアップしておいたものです。

シャワーの修理士に対する会話リスト

話したい日本語	英語の読みカナ
シャワーが壊れているんですけど。	ダシャワー ダズンワーク
	The shower doesn't work.
何が問題なんですかね？	ワッツダプロBLEM？
	What's the problem?
今度いつ来てくれます？	ウェンウィルユ カムアゲイン？
	When will you come again?

この会話リストのポイントは2つあります。

ポイントの1つは「会話内容を予想して」会話リストに

したこと。今回の場合シャワー修理についての話をする
ことはわかってました。だから「シャワーが壊れている
んですけど」「何が問題ですかね」という会話を予想でき
ました。

ポイントの 2 つは会話リストに「読みカナ」を書いたこ
とです。文法やアルファベットの綴りは気にしませんでした。
とにかく発音するときの読みカナを書いておいた
のです。

そしてついにアメリカ人の修理士が来ました。そこで手
当たり次第会話リストの読みカナを唱えてみたのです。
ダメ元で。

そうすると！なんと僕の英語が通じました・・・。

あれほど考え抜いていた自分が嘘のようでした。僕の英
語が金髪のアメリカ人にスムーズに通じるのです。彼は
ひじょうに納得して仕事にかかりました。

そして驚くべきことに僕はアメリカ人修理士の話す英語

も聞き取ることができたのです…！

そうです。彼の英語も理解できたのです。なぜなら彼は僕が使った会話リストのいくつかを僕に唱え返してくれたからです。このとき僕の悩みは吹き飛びました。

「このリストがあれば英語はとりあえず通じるな」「もう文法を考えたりしなくていいんだな」そう答えがみつかったのです。

日本でやった英語が全然通じないのに僕のやり方でなら英語が通じた理由

実際後になって考えてみますと日本で学んだ「文法での翻訳」は英会話では難しすぎるのです。なぜなら会話中もずっと翻訳しつづけないといけませんから。

しかも英会話では返答するまでにたった 1 秒ぐらいしか時間は与えられていません。（1 秒以上会話を待つ人はいませんよね？）これは相当な訓練と頭のよさが必要にな

ります。とにかく過酷なんですよ。

だから日本人のやっている「文法で翻訳して英会話」はものすごく辛いんです。1 秒以内にずっと考えなければいけないから。実際 1 秒どころか 5 秒 10 秒もかかるかもしれない。それぐらい必死になって考えて頭を使って力を振り絞って出した会話がぜんぜん違う会話だったりするんですよ。

これ相手のネイティブ側からしてもつらいんですよ。何か話しても日本人はものすごく怖い顔で黙ったまま。そのうち話したそうなので声が出るまでじっと待ってたら意味のわからない言葉を話される。

ネイティブとすればせっかく相手の話が出てくるまで待ったのに意味の分からない言葉を話される。だから「HUH?」としか言いようがない。

日本人側とすれば必死になって考えて話したのに「HUH?」と言われるとバカにされたように感じるわけですがそれはしょうがないんです。話し相手を待たせた

うえで変な英語を話してしまっているわけだから。その元凶は「文法で翻訳して英会話」していることなのです。

ならば発想を逆転すればいいんです。「動作確認済み」の英会話を先に調べておき話すべきときにズバツと唱えればいい。1 秒以内に英語を話すにはこの方法しかありません！

実際その場で会話を作らないのでテンポよく話すことが可能になるわけです。会話ができる分あなたの会話力も伸びます。いたって単純で効果的ですよ？

先ほど言いましたが日本人の学んだ「文法での翻訳」英会話はしんどい。会話も遅い。内容もヒドイんです。

でも僕の方法なら英会話がラク。会話も早い。内容も確実（先に調べて確認済みだから）なわけです。

そしてここから僕の人生は劇的に変化しました。

その後の僕

その後の僕はこの英会話リストを嵐のように作りました。リストがあれば英会話がとりあえずできるのですから！

嬉しいことにそのうち「お彼はなんかしゃべる気があるらしいぞ…」そういう噂が出たのかクラスメートから自動的に僕と話すようになってくれました。

これにより友人が増えたので会話リストを使う機会が増えました。自然と彼らの言葉を聴き取りやすくなり僕の言葉も洗練されていったわけです。

結果僕の周りにはアメリカ人含め多くのネイティブの友人が集うようになりました。このことが結果的に英会話力をさらに伸ばしてくれました。

ハリウッド映画を観に行ったりサーフィンを 1 日中楽しんだり今までの不遇な状況を取り戻すかのように遊べるようになったのです。

さらに学校の授業も格段に理解できました。その結果学校で表彰されたり賞状をいただくことにもなったのです。サッカー部でも最優秀選手に選ばれました。創設以来はじめて州大会に出場させた偉業を達成したということで学校にはトロフィーが飾られています。まさにアメリカンドリームがマンガのように続いたのです。自分でも信じられませんが事実です。



東京大学

ちなみにこの上向きの状況は日本に帰国した後もつづきました。帰国後の僕が東京大学大学院にて研究できたのは英会話を自由に使えた自信のおかげなのです。

そして今ではこうして英会話を教える立場にもなっています。このように英会話ができると可能性を伸ばしてくれます。素晴らしい経験と栄光が降り注いでできます。

日本を出る前のシャイで臆病な自分が米中の逃げていた凡人でも英語ができるって 1 つ自信を持つと人生変わるんですから不思議なものです。

こうして【6 単】が生まれた

さて僕の人生を大逆転してくれた英会話リストですが手当たり次第に作っていたのでムダな会話も多く含まれていました。

ですのでリストが際限なく増えるので会話をするのに大変だったのです。この問題を解決する必要がありました。

そこでアメリカの友人の言葉を分析していったのですがその結果面白いことが分かりました。

それは「日常会話は似たパターンの焼き直しだった」ということです。

つまり英会話には「基本パターン」があるということなんです。

もし基本パターンが分かれば僕はもうムダな英会話を覚える必要がありません。会話リストも増えませんが会話リストも使いやすくなり覚えやすくなる。英会話がスムーズになります。

そこで僕は目の前にアメリカ人がいることをいいことに会話リストをアメリカ人に使いつづけました。つまり英会話の「基本パターン」を探すために試行錯誤を繰り返しました。会話リストの日常会話でのヒット率を上げていったわけです。

さらに僕はもう 1 つ工夫を加えました。英会話をさらに「6 単語以内に限定」して基本パターン化したのです。

なぜ 6 単語以内の英会話に限定したかというほとんど

の基本的な会話フレーズは 6 単語以内に収まることがわかったからです。

7 単語以上だと長文になって覚えにくく基本パターンとして再利用できない。5 単語以内だと話せる会話が激減してしまう。6 単語以内がベストだったんですね。そこで 6 単語以内と限定したのです（この判断が後になって英断だったことがわかります）。

そうしてできた 6 単語以内の基本英会話パターン。それを僕は【6 単】と名づけました。

この精査された英会話パターン【6 単】こそ成績も記憶力も悪い凡人の僕が英会話できるようになれたヒミツなのです。

【6 単】を生み出さなければ僕は今もまだ英語を話せていないに違いありません。そうなのです。それぐらい【6 単】は僕を英語を話せるようにしてくれて英語を聞き取れるようにしてくれたのです。

ではどうして【6 単】はそれほど英会話上達に強力なのか？そのメリットを挙げてみると以下の 6 つになると思います。

メリット 1 : 【6 単】を 1 個覚えれば英会話力が 3~10 倍になる

先ほどお話ししましたように【6 単】は「英会話の基本パターンを 6 単語以内に限定したフレーズ」です。

「英会話の基本パターン」というのがウリなんですね。それで基本パターンの何が素晴らしいかというと他の会話にも再利用ができるんです。

つまりわかりやすくいえば【6 単】1 つ覚えれば 3~10 個の英会話になるということなのです。

仮にあなたが【6 単】を 1 個覚えるとしてその【6 単】が 3 つの会話に応用できるとすればあなたの英会話力は 3 倍になるのです。

英会話なら 6 単語でできるんです

6 単の例（3 単語の場合）

6 単	基本パターン利用例
【イッダズンワーク】 (It doesn't work)	ヒーターの風が出ません。 クーラーの風が出ません。 車のエンジンが動きません。 パソコンが壊れました。 電気が点きません。
【アイガラゴウ】 (I gotta go)	もう行かなきゃ。 そろそろ動かなきゃ。 そろそろ電話を切るね。 ...
【ターンニットオーバー】 (Turn it over)	紙を裏返して。 裏返して焼いて。 ひっくり返して。 ...

【6 単】を 1 つ覚えるのにたいして努力はいりません。
それで英会話力は 3 倍にもなるのですから【6 単】を覚
えるというのはとても効率的なのです。

僕のような凡才でも英語をガツガツ話せるようになった理由がこのことだけでもおわかりになるかと思います。

【6 単】というテクニックがいかに英会話に強力かという話なんですね。逆に決して僕の才能で英会話ができたわけではないということの証でもあります。

メリット 2 : 【6 単】はダントツに覚えやすい

【6 単】は 6 単語以内の短文なので非常に覚えやすくなっています。これは記憶力の弱い僕にとっては朗報なんですね。【6 単】なら覚えやすいです。覚えやすいからどんどん英語を覚えられるのでうれしいです。覚えた分話せるようになるわけですからね。

メリット 3 : 【6 単】を組みあわせると新しい会話になる

【6 単】は組み合わせると新しい会話を生むことができます。それは再三お伝えしていますが【6 単】が基本パターンだからですね。詳しくは次の表をご覧ください。

英会話なら 6 単語でできるんです

6 単の例（組み合わせた場合）

6 単	組み合わせ例
【シュア？】 (Sure?)	本当？
【アイガラゴウ】 (I gotta go)	行かなきゃ。
↓ 足す	↓
【シュア】 【ユーガラゴウ？】 (Sure you gotta go?)	本当に行くんですか？

もちろんすべての【6 単】が組み合わせられるというわけではありません。けれども組み合わせられる例というのは意外と多いのです。実際に【6 単】を覚えていくうちに自然とわかるのですけれどもとても重宝します。

そしてネイティブの話を聞きますと「あこの話は【6 単】を組み合わせているな」ということもわかるんです。その場合ふつうよりも明らかに英語を聞き取るスピードが増しました。

実際【6 単】を数十個数百個覚えるにしたがってリスニング力がぐんと伸びる感触を僕は実感しています。

メリット 4 : 【6 単】は発音がダントツに通じやすい

【6 単】に含まれる単語数は 6 単語以内です。単語数が少ないので少々発音が下手でもネイティブに通じます。

ネイティブにとっても発音数が少ないほど理解できますから聞き取りやすい。【6 単】を使うほど会話はスムーズになり楽しい英会話がポンポン続くことになります。

メリット 5 : 【6 単】を覚えるほど英語がスムーズに聞き取れる

【6 単】はネイティブとの日常会話の中でネイティブがつかう可能性の高いフレーズです。

様々なアメリカ人・イギリス人に英会話フレーズを使っ

ては反応を聞き試行錯誤して生まれたフレーズです。それは今も繰り返されており年々精度を増しています。ですので【6 単】を覚えればネイティブの話す言葉もわかるのです。

【6 単】を覚えれば覚えるほどまずネイティブの話す言葉を聞き取れるようになります。彼らの長いペラペラと続く会話も実は【6 単】の組み合わせが使われていることも多いのです。

メリット 6 : 【6 単】 のカナを読めばとりあえずネイティブに通じる

先ほどの会話リストでもわかるように【6 単】は「読みカナ」を一緒につけているのがミソなのです。それは英会話の場合は読みカナさえ唱えれば通じるからなのです。

たとえばアルファベット（英字）は英会話をするときには逆に邪魔になることもあります。読みカナなら日本語なのでまだスムーズに読めるんですね。だから【6 単】に

は読み力ナをつけているのです。

英会話をするとき困ったらとにかく【6 単】の「読み力ナ」を唱えてください。それで英語は通じます。

以上 6 大メリットを持つ英会話パターン【6 単】を覚えてつけたことが僕の勝因でした。これで凡才の僕でも言いたいことを英語で瞬時に言えるようになりました。ネイティブの話す言葉を聞き取れるようになったのです。

おわりに

【6 単】をつかって戦略的に学習を行えば短期間に英会話力を伸ばすことが可能になります。実際僕は多数の生徒の英会話力を短期間で高くすることに成功しました。

そしてその後の僕も自分の戦略的学習法をフランス語ドイツ語に応用しド素人の状態からわずか 3 ヶ月で単身旅行ができるほどになった証拠なのです。

英語を楽しもう！六単塾

六単塾は 6 単語以内の頻出英会話【6 単】を学べる世界で唯一の英語塾です。メールを使って 1 日 10 分効率的に英語力を自分で伸ばしていく仕組みを提供しています。

六単塾で学べば「英語がわかる・口から飛び出す」世界が現実的に見えてきます。

[英語を楽しもう！六単塾 入会ページ](#)